

香川高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)	授業科目	国語Ⅲ	
<b>科目基礎情報</b>						
科目番号	1103	科目区分	一般 / 必修			
授業形態	授業	単位の種別と単位数	履修単位: 2			
開設学科	機械電子工学科 (2019年度以降入学者)	対象学年	3			
開設期	通年	週時間数	2			
教科書/教材	教科書:精選現代文B 三角洋一他編 ISBN978-4487165070 問題集:精選現代文B 学習課題ノート 東京書籍 教科書:精選古典B 新版 東京書籍 三角洋一他編 ISBN978-4487165100 漢字:級別漢字学習 4級~2級 東京法令出版 赤羽靖他 ISBN978-4-8090-7508 表現:改訂版基礎からの国語表現の実践2訂版 京都書房 樺島忠夫・佐竹秀雄共著 ISBN978-4-7637-4104-2 図説:新国語便覧 大修館書店 ISBN978-4-469-32228-6 辞書:電子辞書等 (国語辞典 古語辞典 漢和辞典)					
担当教員	野口 尚志, 檜垣 太郎					
<b>到達目標</b>						
1. 現代文や古典の読解を通し、多様な物の見方や考え方を知り、論理的思考の幅を広げる。 2. 正しい日本語で論理的に表現する基礎を習得する。 3. 言語活動(発表)をとおし、発信力と表現意欲を高める。 4. 常用漢字の音訓を理解しつつ語彙を豊かにする。						
<b>ルーブリック</b>						
	理想的な到達レベルの目安(優)	標準的な到達レベルの目安(良)	未到達レベルの目安(不可)			
評価項目1 現代文や古典の読解を通し、多様な物の見方や考え方を知り、論理的思考の幅を広げる。	文章読解、作品鑑賞を通し、多様な物の見方や考え方を知り、自己の思考に活かすことができる。	現代文や古典の読解を通して、多様な物の見方や考え方を知り、整理してまとめることができる。	現代文や古典の読解が十分にできず、記述内容をまとめきれない。			
評価項目2 正しい日本語で論理的に表現する基礎を習得する。	正しい日本語で論理的に表現する基礎的事項を習得し、実践することができる。	正しい日本語で論理的に表現するための基礎的事項を理解することができ、その実践意欲を持つ。	正しい日本語で表現するための基礎的事項を理解することができない。			
評価項目3 言語活動(発表)をとおし、発信力と表現意欲を高める。	周囲を納得させる意欲的な言語活動(発表)を行い、他者の表現にも興味を持って積極的意見表明ができる。	発信を伴う言語活動(発表)を実践し、他者の表現にも関心を寄せ、それに対する自分なりの意見を持つ。	自ら発信する言語活動(発表)に躊躇し、また、他者の意見表明に対して的確に反応しない。			
評価項目4 常用漢字の音訓を理解しつつ語彙を豊かにする。	常用漢字の音訓とそれぞれの意味を理解して語彙を豊かにしつつ、自己の認知を深め、表現を吟味する。	常用漢字の音訓と意味を理解し、語彙を豊かにし、的確な理解と表現をする。	常用漢字の音訓の理解や語彙の豊かさが、深い思考や的確な表現を行うに十分でない。			
<b>学科の到達目標項目との関係</b>						
学習・教育到達度目標 A-(1)						
<b>教育方法等</b>						
概要	国語Ⅲでは、国語Ⅰ・Ⅱでの学びを土台に、以下に示す能力向上を目標とする。 1. 現代文・古典ともに、筆者の論理や心情を本文に即して的確に捉えることで、多様な物の見方や考え方を知り、自らも、幅広く論理的に思考できるようになる。 2. 正しい日本語で、主題・構成を明確に意識し、論理的に筋を展開して表現することができるようになる。 3. 自らが発信する言語活動(発表)を意欲的に実践するとともに、他者の言語活動(発表)にも着目し、その長所を取り入れることができるようになる。 4. 常用漢字の音訓を理解しつつ語彙を豊かにし、表現を吟味しつつ、自己の認知・思考を多様にしたり深めたりすることができるようになる。					
授業の進め方・方法	1. 筆者の論理や心情を内容構成・筋の展開等、本文に即して的確に捉え、自己が気づけなかったような多様な物の見方や考え方に会おう。そして、それらを踏まえ、各自が幅広く論理的思考をする。小グループでの意見交換の機会を持つ。絶えず自分の意見を持つよう努力するとともに、他者の意見にも耳を傾けてほしい。 2. 主題・構成を明確に意識し、論理的に筋を展開して表現する機会を持つ。読解した文章や作品中の根拠となる表現に即し、正しい日本語で、自らの意見を論理的にまとめ、表現するよう意識されたい。 3. 自らが発信する言語活動(発表)として、各自が1分間スピーチを行い、それぞれ相互評価をする。意欲的に実践するとともに、他者の言語活動(発表)にも着目し、その長所を取り入れるよう意識されたい。また、読書体験披露の機会を持つ。 4. 常用漢字の音訓を理解しつつ語彙を豊かにするため、事前に予告して漢字小テストを行う。平素から言語活動に関心・意欲を持ち、自己の認知・思考を多様にしたり深めたりするものとして言葉を大切に、表現を吟味する姿勢を持たれたい。					
注意点	1. 成績評価の内訳は、定期試験64%、提出物12%、漢字小テスト12%、言語活動12%とする。 2. 学年総合成績は、前期総合成績と後期総合成績の平均に、年間をととした言語活動を加味したものである。 3. 単位追認試験、再試験は適切な時期に実施する。 4. オフィスアワーは火曜日放課後とする。					
<b>授業の属性・履修上の区分</b>						
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input type="checkbox"/> ICT 利用		<input type="checkbox"/> 遠隔授業対応		
<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業						
<b>授業計画</b>						
	週	授業内容	週ごとの到達目標			
前期	1stQ	1週	○全体ガイダンス ○国語表現の実践(1) 題材・構成 ○現代文 詩歌 永訣の朝 (宮澤賢治)	○1分間スピーチを念頭に、内容の吟味、分かりやすく伝えるための段落構成を意識する。 ○「詩」を理解しつつ朗読できる。		
		2週	○国語表現の実践(2) 1分間スピーチ割当 ○現代文 詩歌 永訣の朝 (宮澤賢治)	○「詩」について理解を深め、情景や作者の心情を理解しつつ朗読できる。文学史的に宮澤賢治について知る。		
		3週	○漢字小テスト(1)/1分間スピーチ ○現代文 詩歌 永訣の朝 (宮澤賢治) /見えない季節 (牟礼慶子)/未確認飛行物体(入沢康夫)	○語彙を豊かにする。/伝えることを意識して、言語活動を行う。 ○作品の表現・効果を味わい、心情等を理解し、それを表現できる。人間について考えを深める。		
		4週	○漢字小テスト(2)/1分間スピーチ ○現代文 詩歌 見えない季節(牟礼慶子)/未確認飛行物体(入沢康夫)/竹(萩原朔太郎) ○学習課題ノートのまとめ	○語彙を豊かにする。/伝えることを意識して、言語活動を行う。 ○詩を読み比べ、それぞれの表現の特色を理解して味わい、それらを表現することができる。		

2ndQ	5週	○1分間スピーチ/学習課題ノート提出 ○古文 源氏物語 光源氏の誕生【桐壺】	○伝えることを意識して、言語活動を行う。 ○源氏物語の文学史的位 置・梗概を理解し、「光源氏の誕生」を読む。	
	6週	○漢字小テスト(3)/1分間スピーチ ○古文 源氏物語 光源氏の誕生【桐壺】 ○古文 源氏物語 若紫【若紫】	○語彙を豊かにする。/伝えることを意識して、言語活動を行う。 ○「光源氏の誕生」「若紫」を読み、古典世界と現代の違いや共通点に関心を持つ。	
	7週	○1分間スピーチ ○古文 源氏物語 光源氏の誕生【桐壺】/若紫【若紫】 ○前期中間試験・提出物について	○伝えることを意識して、言語活動を行う。 ○和歌について理解し、言語文化に目を向ける。	
	8週	○前期中間試験		
	9週	○試験返却と解説 ○1分間スピーチ ○現代文 評論「である」ことと「する」こと(丸山真男)	○前期中間までの学びを確認する ○伝えることを意識して、言語活動を行う。 ○執筆者についてと評論文を理解して読む。	
	10週	○漢字小テスト(4)/1分間スピーチ ○現代文 評論「である」ことと「する」こと(丸山真男)	○語彙を豊かにする。/伝えることを意識して、言語活動を行う。 ○題名と小見出しに注意して読み、1・2段落を理解する。	
	11週	○漢字小テスト(5)/1分間スピーチ ○現代文 評論「である」ことと「する」こと(丸山真男)	○語彙を豊かにする。/伝えることを意識して、言語活動を行う。 ○章段の要旨と小見出し、さらに題名との関連を意識して読み、3・4段落を理解する。	
	12週	○1分間スピーチ ○現代文 評論「である」ことと「する」こと(丸山真男)	○伝えることを意識して、言語活動を行う。 ○論理構成や展開に着目し、言語化された概念を把握しつつ、5・6段落を理解する。	
	13週	○漢字小テスト(6)/1分間スピーチ ○現代文 評論「である」ことと「する」こと(丸山真男)	○語彙を豊かにする。/伝えることを意識して、言語活動を行う。 ○例示と意見の関係を整理しつつ、7・8・9段落を理解する。	
	14週	○1分間スピーチ ○国語表現の実践(3) 読書体験発表 ○現代文 評論「である」ことと「する」こと(丸山真男) ○学習課題ノートのまとめ	○伝えることを意識して、言語活動を行う。 ○「である」論理、「する」論理をおさえ、筆者の主張を自分の言葉で説明し、人間の在り方を考える。	
	15週	○1分間スピーチ ○漢文 詩 李白と杜甫 ○前期末試験・提出物・読書体験記について	○伝えることを意識して、言語活動を行う。 ○近体詩と古体詩を知り、うたわれた情景や心情を理解する。	
	16週	前期末試験		
	3rdQ	1週	○1分間スピーチ ○現代文 小説 トランジット(小川洋子)	○伝えることを意識して、言語活動を行う。 ○小説の読みについて理解する。 ○場面の展開と「出会い」の意味を意識し、第1・2段を読む。
		2週	○漢字小テスト(7)/1分間スピーチ ○現代文 小説 トランジット(小川洋子)	○語彙を豊かにする。/伝えることを意識して、言語活動を行う。 ○場面の展開と登場人物の心情を意識し、第3・4段を読む。
		3週	○漢字小テスト(8)/1分間スピーチ ○現代文 小説 トランジット(小川洋子)	○語彙を豊かにする。/伝えることを意識して、言語活動を行う。 ○場面の展開と登場人物の作品中の役割を意識し、第5段を読む。
		4週	○1分間スピーチ ○現代文 小説 トランジット(小川洋子)	○伝えることを意識して、言語活動を行う。 ○場面の展開と登場人物の人生について考えながら、第6段を読む。
5週		○漢字小テスト(9)/1分間スピーチ ○現代文 小説 トランジット(小川洋子) ○学習課題ノートのまとめ	○語彙を豊かにする。/伝えることを意識して、言語活動を行う。 ○「出会い」の意味、作品の主題について考えながら、第7段を読む。	
6週		○1分間スピーチ ○漢文 思想1 儒家と道家	○伝えることを意識して、言語活動を行う。 ○人間を巡るさまざまな思想を読み取る。	
7週		○1分間スピーチ ○漢文 思想1 儒家と道家 ○後期中間試験・提出物について	○伝えることを意識して、言語活動を行う。 ○人間を巡るさまざまな思想を読み取る。	
8週		後期中間試験		
9週		○試験返却と解説 ○1分間スピーチ ○現代文 評論 世界をつくり替えるために(小林康夫)	○後期中間までの学びを確認する ○伝えることを意識して、言語活動を行う。 ○筆者の主張を自分に引き寄せつつ、1・2段落を読む。	
10週		○漢字小テスト(10)/1分間スピーチ ○現代文 評論 世界をつくり替えるために(小林康夫)	○語彙を豊かにする。/伝えることを意識して、言語活動を行う。 ○筆者の主張を自分に引き寄せつつ、3・4段落を読む。	
11週		○漢字小テスト(11)/1分間スピーチ ○現代文 評論 世界をつくり替えるために(小林康夫) ○学習課題ノートのまとめ	○語彙を豊かにする。/伝えることを意識して、言語活動を行う。 ○筆者の主張を踏まえ、自分の考えを持ち、それを表現する。	
12週		○1分間スピーチ ○国語表現の実践(4) 読書体験発表 ○現代文 詩歌 牡丹花は 短歌抄 ○プラタナス 俳句抄 ○学習課題ノートのまとめ	○伝えることを意識して、言語活動を行う。 ○短歌と俳句について知り、作品を味わう。	
4thQ	9週	○試験返却と解説 ○1分間スピーチ ○現代文 評論 世界をつくり替えるために(小林康夫)	○後期中間までの学びを確認する ○伝えることを意識して、言語活動を行う。 ○筆者の主張を自分に引き寄せつつ、1・2段落を読む。	
	10週	○漢字小テスト(10)/1分間スピーチ ○現代文 評論 世界をつくり替えるために(小林康夫)	○語彙を豊かにする。/伝えることを意識して、言語活動を行う。 ○筆者の主張を自分に引き寄せつつ、3・4段落を読む。	
	11週	○漢字小テスト(11)/1分間スピーチ ○現代文 評論 世界をつくり替えるために(小林康夫) ○学習課題ノートのまとめ	○語彙を豊かにする。/伝えることを意識して、言語活動を行う。 ○筆者の主張を踏まえ、自分の考えを持ち、それを表現する。	
	12週	○1分間スピーチ ○国語表現の実践(4) 読書体験発表 ○現代文 詩歌 牡丹花は 短歌抄 ○プラタナス 俳句抄 ○学習課題ノートのまとめ	○伝えることを意識して、言語活動を行う。 ○短歌と俳句について知り、作品を味わう。	
後期				

	13週	○漢字小テスト(12)/1分間スピーチ ○古文 軍記物語 平家物語	○語彙を豊かにする。/伝えることを意識して、言語活動を行う。 ○文学的に平家物語について理解して読む。
	14週	○1分間スピーチ ○古文 軍記物語 平家物語	○伝えることを意識して、言語活動を行う。 ○人物や情景描写に着目し、軍記物語の表現の特色を理解する。
	15週	○1分間スピーチ ○古文 軍記物語 平家物語 ○学年末試験・提出物について	○伝えることを意識して、言語活動を行う。 ○登場人物の生き方と時代背景を結びつけて考える。
	16週	学年末試験	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
基礎的能力	人文・社会科学	国語	国語	論理的な文章(論説や評論)の構成や展開を的確にとらえ、要約できる。	3	前1,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後16
				論理的な文章(論説や評論)に表された考えに対して、その論拠の妥当性の判断を踏まえて自分の意見を述べるができる。	3	前1,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後16
				文学的な文章(小説や随筆)に描かれた人物やものの見方を表現に即して読み取り、自分の意見を述べるができる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前15,後1,後2,後3,後4,後5,後8,後12,後13,後14,後15,後16
				常用漢字の音訓を正しく使える。主な常用漢字が書ける。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16
				類義語・対義語を思考や表現に活用できる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16
				社会生活で使われている故事成語・慣用句の意味や内容を説明できる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16

				専門の分野に関する用語を思考や表現に活用できる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16
				実用的な文章(手紙・メール)を、相手や目的に応じた体裁や語句を用いて作成できる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16
				報告・論文の目的に応じて、印刷物、インターネットから適切な情報を収集できる。	3	前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16
				収集した情報を分析し、目的に応じて整理できる。	3	前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16
				報告・論文を、整理した情報を基にして、主張が効果的に伝わるように論理の構成や展開を工夫し、作成することができる。	3	前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16
				作成した報告・論文の内容および自分の思いや考えを、的確に口頭発表することができる。	3	前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16

			課題に応じ、根拠に基づいて議論できる。	3	前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16
			相手の立場や考えを尊重しつつ、議論を通して集団としての思いや考えをまとめることができる。	3	前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16
			新たな発想や他者の視点の理解に努め、自分の思いや考えを整理するための手法を実践できる。	3	前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16

評価割合

	試験	提出物	言語活動(発表)	漢字小テスト	合計
総合評価割合	64	12	12	12	100
評価項目1	40	0	0	0	40
評価項目2	24	5	4	4	37
評価項目3	0	5	8	0	13
評価項目4	0	2	0	8	10